

制定年月日		交換業務作業手引書			文書№	
改訂年月日		1 - 1 中継台操作	部分頁	3/18	全体頁	4/34

(1)中継台機能説明は以下の通りである。

項	項 目	機 能 説 明
1	内 線 呼 び	オペレーターの操作により内線を呼出す機能。
2	通 話 分 割	通話分割ボタン操作により、台-内線、台-局線及び、台-内線-局線間の通話をそれぞれ可能とする機能。
3	保留及び保留応答	通話中の局線又は内線に対して一時保留する機能。 保留した同局線又は同内線に対して応答する機能。
4	局 線 セ ン ダ 接 続	局線への選択信号送出をダイヤル操作を行わずダイヤルボタン操作で行い、実際の選択信号は局線トランクから自動的に送出する機能。
5	即 時 依 頼 発 信	内線より依頼発信の時、依頼者が受話器を上げたままオペレーターは即時に接続することができる機能。 局線発信、内線相互、専用線接続のいずれの場合も可能。
6	内 線 話 中 表 示	被呼内線が話中の場合、中継台にその旨を表示できる機能。
7	キ ャ ン プ オ ン リ ン ギ ン グ	中継台から局線を内線に接続する時、内線が応答する前にオペレーターが抜けても内線応答時に自動的に局線と内線が接続される機能。
8	キ ャ ン プ オ ン ビ ジ	中継台にて局線を内線に接続する時、内線が話中でもオペレーターが抜ければ、内線終話時に自動的に内線呼び出す機能。
9	半 自 動 キ ャ ン プ オ ン	局線着信を内線に転送する時、内線が話中の場合ボタン操作でオペレーターは抜けます。 話中内線が空になると台に表示され、再びボタン操作をすれば内線呼出して局線と接続する機能。
10	キ ャ ン プ オ ン メ ッ セ ー ジ	中継台がキャンプオンリング、キャンプオンビジーで抜ける場合、ボタン操作をしておけば内線が応答時に音声メッセージを流してから局線と通話できる機能。
11	キ ャ ン プ オ ン 二 重 待 合 防 止	同一内線に対し、キャンプオンビジーを二重に行うことを防止する機能。
12	シ リ ー ズ コ ー ル	局線から2ヶ所以上の内線に接続を要求された場合、ボタン操作しておけば一回目の通話が終話した時、台に表示が出て再び局線と通話ができ、次の内線へ接続できる機能。
13	内 線 状 態 表 示	内線の話中／空状態を中継台前面の表示盤又はワンタッチボタン上へ表示する機能。
14	P B 信号 END TO END 送出	中継台からPB信号をEND TO END通話のため、送出する機能。
15	台 間 転 送	中継台への局線着信呼をボタン操作により、他の台へ転送できる機能。
16	台 間 連 絡	中継台相互間で連絡通話ができる機能。
17	監 視 通 話	中継台経由の局線発着信接続の場合、ボタン操作により、オペレーターが抜けた後も局線と内線との通話状態を監視できる機能。
18	話 中 割 込	オペレーターが通話中の内線者に対して割込んで通話できる機能。
19	不 在 転 送 登 録	内線からの依頼で不在転送を登録する機能。